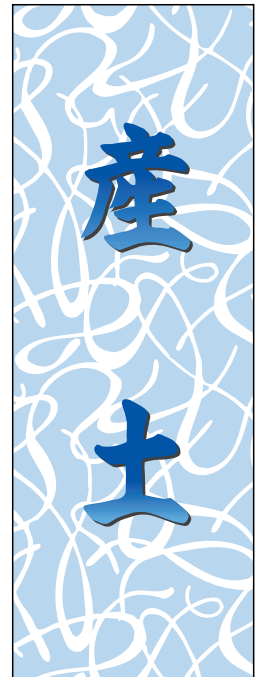




夏越祭 茅の輪



彦島八幡宮社報
第35号

夏越祭 前夜祭奇行

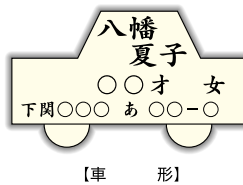
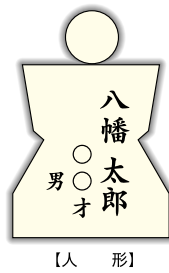
七月二十九日(火)

◎午後五時より大祓式並びに菅拔神事齋行すがぬき

大祓式とは、毎年(六月若しくは七月三十日/十二月三十日)二回、全国の神社で執り行なう大切な神事で、日常生活において、知らず知らずのうちに犯してきた心身の罪穢れを祓い清め、神様の御心にかなう清く明るい正しい生活を続けようという日本の伝統的信仰であります。

人形ひしがた(*右図)に氏名・年齢・男女の別を記入(※車形の場合は、車のNo.プレートも記入)し、息を三回吹きかけ、これにより人形はその人の分魂わけたまが宿り、大祓式(おおはらえしき)の当日に神職がお焚き上げ(又は、それに準ずる行為)することにより、半年間の生活の中で気付かぬ内にその方の身に付いてしまった罪や穢けがれが悉く祓い清められるという神事です。

※夏越祭当日、人形並びに車形を頒布しております。



夏越祭・菅拔神事とは、酷暑の夏の前に、カヤとヨモギで作られた輪をくぐり、無病息災をお祈りするお祭りです。カヤとヨモギには、左記のような意味があります。

※カヤ……鋭い葉で罪・穢を切り払う。又、カヤの芽が青々とたくましく伸び行く様にあやかり、生命を授かる事を祈る。

※ヨモギ……薬草の一種。又、ヨモギが生い茂るが如くに、一家の益々の繁栄を祈る。

水無月の 夏越の祓ひ する人は

千歳の命 延ぶといふなり 『古今和歌集』

※意味||夏越の祓いをする人は、長寿を全うするといわれている。



彦島各町内におみこしをお駐めし、会社、工場を始め皆様方のご安全、ご繁栄を祈願するお祭りです。

御神幸祭の順路時刻表（*下記）をご参照の上、おみこしにお参り、ご参拝いただきまして、平成二十年下半期の更なる安全と幸せを祈念されますようご案内申し上げます。

尚、午後三時よりは、海士郷の彦島漁港より御座船（*二艘の連結船）に、おみこしをお載せして、彦島大橋下を通過、西山海岸沖を經由、南風泊分港に至る区間、海上渡御が行われます。

午前七時〇〇分 本殿祭
七時三〇分 発輿祭
（※おみこし出発のお祭り）
八時〇〇分 おみこし ご出発

夏越祭 御神幸祭 齋行
七月三十日(水)

夏越祭御神幸順路と予定時刻

本社御発輿 → 正面鳥居左折 → 三井化学内 → 三井化学前信号を左折 → 十二苗祖墳墓 → 卯月峠經由本
8:00 8:05 8:20 8:25
村四つ角を右折 → 後山ナカハラプリンテックス倉庫前に入り進行 → みやぎ理容院を右折 → 南国マン
ション横左折 → 県道を横断 彦中下を上る → 関門トンネル上を右へ → 塩谷公園横を通過 福浦2町へ
8:40
入る → 日ポリ産業前 → 山口三菱自動車角右折進行 → 金刀毘羅宮 → 関門海峡フェリー前 → 日本歯科
8:50 9:00 9:05
薬品前 → 福浦橋を渡り塩浜へ → 塩浜公民館前 → サンデン彦島営業所内 → 大通りを進行 県道横断向
9:10 9:20
井町を經由 山中町民館前引き返し桜ヶ丘入口より峠を越し弟子待徳岡商店前を左折進行 → 日本グリー
9:45
ス昭和八幡前引き返し → 弟子待町民館前 → 弟子待を出て 弟子待保育園を下り右折 → 村田漢方薬局前
10:00 10:20 10:35
左折進行 → 角倉小学校角左折 なかべ学院下を通り県道に出て右へ → 福浦山銀前信号を右へ → 杉田
10:45
信号を右に進行 → 三菱至誠寮前を左に上り江の浦8丁目中通を進み県道に出て右折 → 下関菱重興産
10:55 11:00
前 → 三菱下船工場内 → 江の浦町民館前 → サンセイ下関工場内
11:15 11:40 11:55

昼食 (於、本村公会堂 TEL266-2219)



出発 → 老町 → 貴布禰神社階段下 → 海士郷恵比須神社前「彦島漁協にて海上渡御準備」出船 ~~~~
14:00 14:10 14:25 15:00
~~ 漁港内一周 ~~~~ 小戸口、彦島大橋下を抜け ~~~~ 西山海水浴場沖を通過 ~~~~
南風泊魚市場岸壁に上陸 → 魚市場前 南風泊漁協前 → 県道右折竹の子島に渡り 関門造船前引返し →
15:35 15:45 15:50 16:10
西山公会堂前 → 彦島製錬 → MCS → 県道右折進行 → 西山口信号を直進 → 神社前 キャボットジャパ
16:30 16:40 16:45 16:50
ン引き返し → 荒田、絞バス停車前を左へ上り旧道を進行 → 彦島豆富工場前を通り県道を右へ → サン
17:10
リ彦島店 → 本社御還幸
17:15

~~~~~ : 修祓 (一旦停止) 箇所  
~~~~~ : お旅所 (祭典、小休止) 箇所



宮司プレス 第二五号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十年六月十三日

◇宮司の柴田です。宮司プレスの発行を始めて丸二年がたちました。やはり今の社会情勢の中で、「ニコミ」(くちコミ、ミニコミ、マスコミ)によって情報を発信していく必要性を感じ取り組んだのでした。

ちなみに、「プレス」とは、英語で印刷・出版・新聞という意味ですし、また、場所は英語でプレイスといいますが、宮司の居場所や素晴らしい場所「まほろば」にも通じる思いで「宮司プレス」と名付けました。

◇六月は水無月です。別名水無月といいますが、水が無いから水無月なのではありません。無は、「な」で、古語の連用形ですから、現在は「の」に当たることばです。ですから、水の月という意味です。

また、田植えの行事が無事にすみ「皆仕尽(みなしつく)した」「みなしつくしづき」から転じて水無月になったなど諸説あります。◇父である先代典行宮司が、行く水の再び還らぬ如く、命がむなしくなったのは三年前の六月二十日のことでした。

水は、穏やかに船を運ぶ事が出来ませんが、

嵐を呼びひっくり返す事も可能だし、水がなくなると座礁します。やはり、今こうして御奉仕ができるのは、たくさんの人のおかげであり、船の心である感謝の心、水の心ともいべき謙虚な心を忘れずに、「神様の宿る心」、その清らかな気持をいつもたくさんそそいで生活したいものです。

◇渠(きよ)成(な)りて水到(みずいた)る、これは中国の故事(こじ)です。

渠とは大きな溝の事ですが、この故事の意味は、昔大きな溝を作ったけれどもなかなか水が流れてこない、ある日大雨が降ったら、乾いた田を美田(びでん)にかえるような、滔々(とうとう)とした清らかな水の流れが出来たという事です。

この清らかな水の流れをつくるためには、やはり、大自然の恵に感謝をし、神を敬い祖先を尊ぶ心を忘れずに生活することが大切だと思えます。

◇今、世界の世論の中心は「人権」と「環境」です。

中国のチベットの問題や世界各地で民族間

の紛争が耐えませんが、

地球環境も、温暖化の問題や異常気象等、進みすぎた文明が、大自然の正しい循環を邪魔をして、阻害する事によってもたらされた宿命的な危機や複合的な危機に直面しています。「ポイント オブ ノー リターン」が迫っています。環境の問題に限っては、もう後には戻れないのですね。全世界の人類の英知を結集しなければならぬ状況です。

◇大自然の恵に感謝し、神様や祖先を尊び、そして今を生かされて生きている事のおかげさまという気持ちを大切に、自然と共に神様祖先と共にそして家族や地域の人々と共に生きていくのが神社神道であります。

「神社」の「社」は、森の事でありまして境内の緑の維持、植林、植木の手入れ等、森厳なる「社」になるよう努力を傾けたい所存です。霧流れる朝心地よく、早苗がさわやかに風に揺らぐこの季節に私は、父から受け継いだ第二十一代宮司として重みを感じながらも謙虚な気持ちを忘れずに、護持運営に鋭意努力申し上げたいと思えます。

◆五月の祭典行事の報告

▼塩釜神社例祭 *五月六日



▼早起会総会 *五月十一日



▼福浦金刀比羅宮例祭

*五月十七日〜十八日



▼責任役員常任総代会開催

*五月二十四日

▼敬神婦人会総会

*五月二十五日

▼奉賛会役員会開催

*五月二十九日

▼境内のツツジも満開でした



◆六月の祭典行事予定

▼海士郷恵比須神社例祭 *六月十日

▼貴布禰稻荷神社例祭 *六月十四日

▼朝粥会 *六月二十一日

※どなたでも参加できます、午前六時半より祈願祭、宮司講話、お粥を食べます

▼大祓式 *六月三十日



◆六月の宮司の予定

▼神職大会に参加

*六月五日、山口市へ出張

▼山口県神社庁下関支部三役会出席

*六月五日

▼当宮維蘇志会六月例会出席

*六月六日

※境内の草刈作業の後に例会行事

▼山口県敬神婦人連合会総会に当宮敬神婦人会役員と参加

*六月九日、山口市へ出張

▼山口県神社庁協議員会に出席

*六月十三日、山口市へ出張

▼直階講習会講師打合せ、祭式研修会に参加

*六月二十日

▼当宮にて開催のリバース彦島の六月例会にて講話 *六月二十日

▼中国地区の氏子青年会研修会に当宮維蘇志会役員と参加

*六月二十一日〜二十二日、出張方面

▼市PTA連合会企画委員会に出席

*六月二十四日

▼玄洋中PTA常任委員会に出席

*六月二十五日

▼当宮奉賛会総会出席

*六月二十九日

▼萩市阿北総代会にて講演

*六月二十九日

▼六月二十九日

*六月二十九日



平成二十年

節分祭御協賛御芳名

平成二十年節分祭にあたりまして左記の通り多大な御協賛を賜りました。

(*順不同、敬称略)

【物品協賛の部】

▼舞台花道設置

新原工業

▼照明設備

(有)タツミ電工

▼水道設備

(株)副田工務所

【協賛金の部】

▼壹万円

(株)田原工務店

海洋開発(株)

青木鉄工(株)

(株)ナカハラプリンテックス

西中国信用金庫

西和建工(株)

(株)石原建設

協立運輸商事(株)

池田興業(株)下関支店

下関唐戸魚市場(株)

サンセイ(株)下関工場

三菱重工業(株)下関造船所

日本歯科薬品(株)

(株)岡本鉄工

ジャパンマリン(株)

日本サイテックインダストリーズ(株)

下関菱重興産(株)

日新リフレテック(株)

ズードケミー触媒(株)下関工場

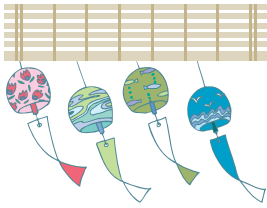
キャボットジャパン(株)

下関三井化学(株)

彦島製錬(株)

(株)エム・シー・エス

(有)神谷工務店



つきごへい
月御幣をおまつりして
大神様のご加護を
いただきますように

当宮では、毎月一日、月次祭を斎行して国と地域の安全と繁栄をお祈り致しております。

毎日が、無事息災で過ごせますよう、その月ごとに祈りを込め、お清めされた月御幣をおまつりいたします。

※一年を通して、一月から十二月まで十二色がございます。

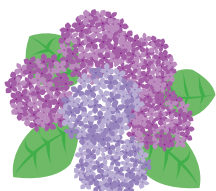
一年を通して、一月〜十二月まで十二色、専用の御幣台もございます。

初穂料は、各五〇〇円にてお頒けいたしております。

皆様方が健やかで

ご繁栄であります事を

心よりお祈り申し上げます



七五三参拜のご案内

七五三参拜とは、三歳、五歳、七歳と成長の節目に近くの氏神様に参拝して無事成長したことを感謝し、これからの将来の幸福と長寿をお祈りする人生儀礼の一つです。

左記の通り、今年、七五三をお迎えになるお子様をご家族の方共々にお祝し上げ、お守り、千歳飴、知恵おこし、おもちゃをご用意致しております。



▼三歳 平成十八年生まれの男子女子

※古くは髪置と言ひ、頭髮を伸ばし始める歳です。

▼五歳 平成十六年生まれの男子

※古くは袴着と言ひ、袴を着用し始める歳です。

▼七歳 平成十四年生まれの女子

※古くは帯解と言ひ、大人の帯を用い始める歳です。

朝粥会のご案内(毎月二十日)

彦島八幡宮では、毎月二十一日(午前六時三〇分〜七時三〇分頃)に朝粥会を開催いたしております。

彦島のまほろば(良い所、美しい所の意)で、清々しい朝をお過ごしになられてはいかがですか。どうぞお気軽にお参り下さい。

【内容】 ①本殿にて祈願祭を斎行

②宮司講話

③会館瑞鳳殿にて

おかゆを食す



【初穂料】 お気持ちで結構でございます。

ご家庭に
『**伊勢神宮のお札**』
(伊勢神宮のお札)を
おまつりしましょう

伊勢神宮は、天皇家がお定めになりお祭を始められた日本の中心となる神社です。

地域の守護として**氏神様**、国の守護として**伊勢神宮**がおまつりされています。

国が在つての地域の存在でありますので、これと同じ事で、伊勢神宮が在つてこそその地域神社の存在なのであります。

昔から「国(くに) 家(いえ) 共に栄え」と良く言われておりますが、国が栄えて始めて地域の発展があり、国民の安全と繁栄が約束されるという意味であります。

八幡大麻(氏神様のお札)と共に**神宮大麻**(伊勢神宮のお札)をおまつりし、国と地域の発展隆昌をお祈りいたしますよう。

※伊勢神宮では、平成二十五年に第六十二回式年遷宮が斎行されます。

遷宮とは、神社の正殿を造営、修理する事や、正殿を新たに建てた場合に神様にお遷りいただくことです。式年とは、定められた年という意味で、伊勢神宮では二十年に一度行われています。



祭典行事予定《下半期》

七月 九日 六連島七社祭

十五日 天満宮例祭

二十四日 田ノ首八幡宮夏越祭

二十五日 六連島八幡宮夏越祭

二十九日〜三十日 彦島八幡宮夏越祭

三十一日 恵比須神社夏越祭(海士郷町)

八月 上旬 まほろば学級(於 彦島八幡宮)

▼九月十日〜十一日 若宮神社例祭(於 彦島八幡宮)

※両日とも平家踊りがあります。

二十一日 貴布禰神社例祭(老町)

二十三日 彦島八幡宮神道会祖霊祭

※宗旨が神道家のみたま祭

▼十月 四日〜五日 六連島八幡宮例祭

十一日〜十二日 田ノ首八幡宮例祭

十五日 舞子島八幡宮例祭

十七日 神嘗祭当日祭

十八日〜十九日 彦島八幡宮例大祭

▼十一月 三日 明治祭

十五日 七五三祭

二十三日 新嘗祭

▼十二月 三日 恵比須神社(海士郷町) 祈漁祭

※通称「ボラ祭」

上旬 大注連縄奉製

二十三日 天長祭

下旬 正月臨時巫女奉仕者説明会

三十一日 大祓式

除夜祭



秋季例大祭 予告

●平成二十年十月十八日(土) 前夜祭

十月十九日(日)

サイ上り神事



御創祀八五〇年 式年記念事業【お知らせ】

酷暑の夏に向け、ご参拝される皆様方の便宜を図り、少しでも涼を取るため拝殿内にエアコンを設置いたしました。多くの皆様方のご奉賛のおかげでございます。厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

また、来年に向けて御神殿まわりの透塀の建設に着手予定であります。向後ともよろしくお願い申し上げます。(拝)

編集・発行

彦島八幡宮社務所

下関市彦島迫町五丁目十二番九号

TEL 〇八三一二六六〇七〇〇

FAX 〇八三一二六六一五九一一

ホームページ <http://www.hikoshima-guunet>

平成二十年七月十五日

印刷・(株)ナカハラプリンテックス